



ゆり地域支援だより

令和3年8月3日発行 第2号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

運動会 ～IN ナイスアリーナ～

ゆり支援学校 地域支援部主任 高橋直志

今年度は、ナイスアリーナを舞台に2年ぶりの運動会を開催しました。残念ながら新型コロナウイルスの影響もあり、各学部ごとの開催となりました。各学部で感染予防を意識しながら、子どもたちにとって思い出に残る行事となるように工夫を重ねながら実施しました。各学部活動の様子についてご紹介します。



小学部

小学部は、みんなで楽しく体を動かすことを目標に「にこにこ運動会」と銘打って開催しました。広い体育館を十分に使って、徒競争、パン食い競争、ダンスをしました。徒競走では、短距離ながら力いっぱい走り、ダンスでは、「ドラえもん」「紅蓮華」「夜に駆ける」とおなじみの曲をかわいらしく踊って、保護者の皆様から温かい拍手をいただきました。



中学部

中学部は、学級、学年を越えた集団での協力を目標に、赤・青・白の3組に分かれて運動会を行いました。大玉転がしやフラフープくぐりなどの得意な種目を選択して全員でリレーをする「全員リレー」や、約50mを全力疾走した「徒競走」、20本のピンを倒すまでの時間を競う「ピン倒し」などに取り組み、見事、青組が優勝しました。



高等部

高等部は、代表委員が中心になり、競技の運営や進行を行いました。昼休みなどの時間を利用して、係ごとに打ち合わせや練習を重ねました。当日も、アドリブなどを実況に入れながら、運動会が盛り上がるように一人一人が役割を果たしました。また、オリジナル種目、「玉入れ鬼」では、遊び感覚ながらも白熱した勝負が展開され、大盛り上がりでした。



個別の支援計画・個別の指導計画の作成って、大変！ですか？

ゆり支援学校 教育専門監 桐田明日子

個別の支援計画は、保護者と関係機関が情報を共有し、それぞれが専門性を発揮しながら、生涯にわたって的確で一貫した支援が行われることをめざして作成されます。

個別の指導計画は、個別の支援計画を踏まえ、一人一人の状態に応じてきめ細かな指導が行えるよう、具体的に指導目標や内容、方法を盛り込んで作成します。

このように、支援を必要とする幼児児童生徒にとって大事なこれらの計画ですが、作成する側にとっては、大変な作業と捉えられがちです。「何を書けばいいのか」「目標の立て方が分からない」「作成しても活用できない」などなど、悩んでいる声が聞こえてきます。学習指導要領等にも明記され、作成「しなければならない」と義務的に考えると、余計に頭を悩ませてしまいそうです。

ちょっと発想を変えて、担任・担当する子どもについてのお役立ち情報が満載の資料と考えてみてはいかがでしょうか。「こんなところとつながってるんだ（情報が聞けるかも）」「ここはクリアできてるな（次の目標は…）」「こんな支援が有効なんだな（この支援はもういらぬいな）」などなど、日々の指導・支援の参考になる情報を受け継ぎ、次へと引き継いでいく。目標が後戻りすることなく、成長に応じて途切れなく支援が続くよう、その子の自立と社会参加に向けて関わってきた担任・担当・支援者の願いや努力の軌跡として、積み重ねられたらいいなあと思うのです。

お困りのときは、ゆり支援学校がお手伝いします。気軽に声を掛けてください。

ご活用下さい!!

**障害理解学習
出前授業**

本校が行う障害理解学習のテーマは、「心のバリアフリー」です。障害の有無や性別、年齢、国籍に関わらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、心豊かな生活を送ることを願い、人権教育の一環として実施しています。是非、ご活用下さい。

体験を通して

- ・言葉が伝わらない架空の国、どうしたらコミュニケーションがとれるかな。
- ・相手のことを考えたり、気持ちを合わせたりすることの大切さや楽しさを、ゲームを通して体験。

相手の立場や気持ちの理解

- ・多様性を認め、様々な人の気持ちに寄り添えるように、ロールプレイや寸劇で考えます。



クイズ～生活の中の工夫～

- ・これは誰のための工夫かな？～ユニバーサルデザイン～
- ・バリアフリーって何だろう？

読み聞かせ

- ・障害をテーマにした絵本や本を、年齢に応じて選び、読み聞かせをします。

上記の4つの内容をもとに、みなさんのニーズに応じて学習を行います。リーフレットも準備しています。どうぞ、お気軽にお問い合わせ下さい。

**先生方のお悩みや疑問にお答えします。
ご連絡、お待ちしております。**

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL : 0184-27-2631

E-mail: yuri-s@akita-pref.ed.jp

